

## 国立大学法人 山形大学

事業名	災害発生時一大地震、火事、停電から身を守るには？ (How to protect yourself from disaster?)			
実施期間	平成25年10月16日(火)			
場 所	山形国際交流会館(香澄町)			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	37 名	1 名	4 名	42 名

### <実施内容>

今秋10月に入学した短期留学生を主に、同会館に住む日本人学生チューターを含めて38名が参加し、約2時間にわたって、心肺蘇生・AEDを用いた除細動、気道異物除去をメインとした救急法短期講習(協力:日本赤十字社山形県支部)のプログラムに取り組みました。

この後、国際交流会館の居住者(およそ50名程度)を対象に一食分の非常食を摂ることを想定し、非常炊き出しの実践として非常用炊飯袋を使った「炊飯活動」及び「大鍋による調理」に挑戦しました。



心肺蘇生で圧迫する部分について指導員によるレクチャー(No.1 一段目左)、心肺蘇生から気道異物除去、AEDを用いた除細動まで一連の流れを役割分担しながら訓練する留学生たち(No.2 一段目右)、炊飯活動での袋詰め、煮炊き作業の様子(No.3,4 二段目)、協力して大鍋調理に取り組む留学生たち(No.5,6 三段目左・中)、出来上がった料理を全員で試食します(No.7 三段目右)

### <参加者からのコメント>

張 闖(チョウ チン)さん(中国)/ZHANG CHIANG

日本は地震や台風の被害によく見舞われるので、今回のようなセミナーは本当に必要だと思います。救急法を身につければ、いつか他人を助けることができるかもしれません。中国では学生たち向けの救急法訓練はほとんどないので、こういう形式の訓練を行えばいいと思います。将来、私は自分の力を捧げてそういう訓練を中国にも広げたいです。

ヴー フォン タオ さん(ベトナム)/Vu Phuong Thao

I realized that it is possible to save people by using an AED and it is easily to use. However if you don't study to use it, you do nothing and hardly to save people.